

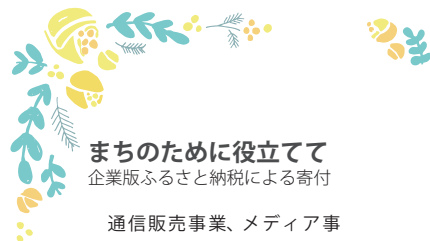


先進地区から防災を学ぶ

昌農内自主防災会 見学勉強会

7月19日、昌農内集会所で松前町防災士の会主催の「昌農内自主防災会 見学勉強会」が行われ、町内の防災士や区長など33人が参加しました。

参加者は昌農内自主防災会の活動について学んだあと、防災倉庫の見学や防災資機材の使用体験を行いました。松前町防災士の会の高橋昌志会長は「一人一人が防災意識を持って、できるだけ被害が少ない町になってほしい」と話していました。今後は松前・北伊予校区でも開催予定です。



まちのために役立てて

企業版ふるさと納税による寄付

通信販売事業、メディア事業、コンサルティング事業などを運営する株式会社くらしラボ（本社：東京都）は、7月9日、町行政に役立ててほしいと、企業版ふるさと納税を利用してダニよけスプレー 60本を町に寄贈しました。

いただいたご厚意は、大切に活用させていただきます。ありがとうございました。



スポーツを安全に楽しむために

スケートボード用品の寄贈式と贈呈式

松山市アクティブ・スポーツ協会（池田裕之会長）は7月21日、スケートボード用品のヘルメット8点、プロテクターセット14点を町に寄贈しました。これは、松前町スケートボードスポーツ少年団が設立したことに伴い、子どもたちの安全とスポーツ振興のために寄贈されたものです。

この用品は、同日に町から松前町スケートボードスポーツ少年団（黒田千鶴団長）へ贈呈されました。黒田団長は「子どもたちが安全にスケートボードを楽しめるように、大切に使用してもらいます」と感謝を伝えていました。



一緒に健康的な体を作りませんか

町民企画講座「松前町カンフー教室」

7月12日、まさきふれあい学園の町民企画講座の一つである「松前町カンフー教室」の第一回が北伊予小学校で開催され、子どもから大人まで11人が参加しました。

これは、町民自身が講師を務める町の生涯学習事業で、同教室は毎月第2日曜日に開催しています。奇数月はアクティブコースで体を大きく使う運動を、偶数月はボディーメイクコースで「リラクゼーションカンフー」を行っており、単発での参加も可能です。講座に興味のある人は、講師の越智健太さん（☎080-1027-4846）までご連絡ください。



お腹も心も大満足

第1回たわわフェスタ

「第1回たわわフェスタ」は7月11日、エミフルMASAKIまさき村前駐車場で開催され、たくさんの人でにぎわいました。

令和8年度最初のテーマは「ビアガーデン MASAKI MEAT NIGHT 4.0」。肉料理を中心に提供する県内外の約30店舗が松前町に集結しました。会場では、ギター演奏やダンスなどのステージも行われ、訪れた人はステージを楽しみながらおいしい肉料理を味わっていました。



これからも地域のために

愛媛県少年補導委員連絡協議会会長表彰

愛媛県少年補導委員連絡協議会会長表彰が6月19日に松山市青少年センターで行われ、本町からは、藤波武男さんが表彰されました。これは、長年にわたり児童生徒の安心安全について考え、子どもたちの登下校時の見守り活動や商業施設でのパトロールなどを行い、青少年の健全育成に尽力したとして表彰されたものです。

表彰を受け、藤波さんは「補導委員の存在そのものが犯罪などの抑止力になっていると思う。子どもや地域全体がこれからも安全であってほしい」とほほ笑んでいました。



各地域で多彩な夏祭り開催

町内各地域

7月中旬～下旬にかけて、町内各地域で夏祭りが行われました。会場では多くの人が出店で食事をしたり、演芸を観覧したりして夏を楽しみました。

西高柳ではカラオケや空手の演武披露、本村では大漁を願う神事、筒井では義農太鼓の力強い音色が響き、神崎・鶴吉では北伊予小学校金管バンド部の演奏などがあり、各地域で特色豊かな祭りが行われました。



▲西高柳（西高柳集会所）



▲本村（蛭子神社）



▲筒井（筒井公民館）



▲神崎・鶴吉（伊豫神社）



農業委員などが決まる

松前町農業委員・農地利用最適化推進委員

7月20日からの3年間、農地利用などに関する意思決定を行う農業委員14人と担当地区での農地などの最適な利用を進める農地利用最適化推進委員10人の合わせて24人が決定しました。

また、農業委員の会長には大政浩史さんが、会長職務代理者には池内直人さんが選出されました。



会長
大政浩史さん



会長職務代理者
池内直人さん

▶農業委員

久保 龍彦	(南黒田・北黒田)
古川 理枝子	(宗意原・新立・本村・筒井)
八束 光男	(徳丸)
本田 啓三	(中川原)
秋山 和恵	(出作)
池内 直人	(神崎)
清川 誠	(鶴吉)
篠崎 保	(横田・大溝)
渡部 一幸	(永田・東古泉)
伊賀上 典久	(大間・上高柳)
大政 浩史	(恵久美)
重川 鐵	(昌農内・西高柳)
戎森 基晴	(西古泉・塩屋)
大川 誠	(北川原)

▶農地利用最適化推進委員

中矢 龍彦	(南黒田・北黒田)
赤星 文人	(宗意原・新立・本村・筒井)
弓立 成人	(徳丸)
加藤 正和	(中川原)
山下 廣昭	(出作・神崎)
大澤 長幸	(鶴吉・横田)
浮穴 佳温	(大溝・永田・東古泉)
仙波 正宏	(大間・上高柳)
水口 稔章	(恵久美・昌農内・西高柳)
重松 茂	(西古泉・塩屋・北川原)



絵本や人形劇の世界へようこそ！

文化講演会「長野ヒデ子とタイコさん一座」

7月26日、文化センターで文化講演会「長野ヒデ子とタイコさん一座」が行われ、約130人が参加しました。

絵本作家の長野さんは愛媛県出身で、代表作には「おかあさんがおかあさんになった日」「せとうちたいこさんシリーズ」などがあります。まず、長野さんがこれまで書いてきた絵本や紙芝居の裏話や読み聞かせが行われました。

次に、タイコさん一座で糸操り人形家の井上由利子さんによる人形劇が生演奏付きで行われ、参加した人は手拍子や掛け声を行いながら楽しいひとときを過ごしました。



お互いの国の文化にリスペクトを

ハワイ大学の学生と伊予高等学校の生徒の交流

ハワイ大学の学生2人と伊予高等学校の生徒8人は7月27日、伊予高等学校で国際交流としてお互いの伝統文化に触れ合いました。これは、愛媛県と姉妹提携する米国ハワイ州との交流促進の一環として行われたものです。自分たちの住む町を紹介した後は、ハワイのフラダンス、松前町のはんぎりを体験して交流を深めました。

ハワイ大学のレイラ・ヴィクトリア・ユセビオさんは「(はんぎりは)難しかったけれど、優しく教えてもらえた。たくさん水に落ちたが楽しかった」と笑顔を見せていました。



筋肉をつけていつまでも健康に

脳科学リハビリテーション医による講演会

7月23日、文化センターで脳科学リハビリテーション医の酒向正春さんの講演会「健康寿命の延伸の道筋『筋肉革命95』」が開催され、約460人が参加しました。

酒向さんは患者の残存能力を最大限引き出すアプローチ「攻めのリハビリ」を提唱し、長嶋茂雄さんの社会復帰を支えました。講演では「健康維持に必要なのは筋肉。運動することで認知症リスクを抑えることができる」と訴えました。参加した人は「まだ60代だけど、今できることを考えていきたい」と話していました。



町内各地で「ひまわり祭り」開催

中川原・徳丸「ひまわり祭り」

「ひまわり祭り」は、中川原と徳丸で7月下旬から8月中旬にかけて行われ、多くの人が、咲き誇ったひまわりを觀賞しながら催し物などを楽しみました。

中川原では2つのひまわり祭りが開催されました。1つ目はひよこたん池公園周辺で開催。恒例の写生大会に参加した子どもたちは、絵の具やクレヨンなどを使って、画用紙いっぱい大きなひまわりを描いていました。地域住民による演奏大会、かき氷や焼きそばなどの出店も大盛況でした。2つ目は井ノ口貴大さんの畑で開催。伊予高等学校の探Q講座「ひまわりプロジェクト」に所属する生徒21人がイベントを手伝い、青葉幼稚園の園児約70人がミニゲームを楽しみました。

徳丸は高忍日賣神社の近くのひまわり畑で開催。ひまわりに付いている白い札を見つけた子どもにはお菓子がプレゼントされる「宝探し」が開催され、訪れた家族連れは楽しんでいました。



井ノ口貴大さんの畑



ひよこたん池公園



徳丸



松前のチームでホッケーがしたい

松前ホッケークラブの練習に参加

夏休み期間を利用して、海外在住の中学生が松前ホッケークラブの練習に参加しました。アイルランド在住の大塚さん(左)は、今年で2回目の参加となり、全日本中学生ホッケー選手権大会にも同チームで出場しました。「日本のホッケーに興味があった。みんな覚えていてくれて、練習も楽しい」と笑顔で話していました。イギリス留学中の城徳さん(右)は「ここで練習をすれば上達しそう。来年も参加したい」と意欲を見せていました。



SDG s 探検隊

松前町子ども環境学園 2026

7月31日、町内の小中学生で構成される「松前町子ども環境学園 2026」の学園生 36人が、伊予市松前町共立衛生組合塩美園、松山市西クリーンセンター、金城産業株式会社を見学しました。普段何気なく出しているごみ、どのように処理され、どのようにリサイクルされているのか、その過程を間近で学びました。

参加した子どもたちからは「分別の重要性を実感した」「ごみを減らす工夫をしたい」といった声が寄せられ、環境について考える貴重な一日となりました。



心をひとつに、響く歌声

第 64 回愛媛県少年少女合唱連盟演奏会今治大会

第 64 回愛媛県少年少女合唱連盟演奏会「今治大会」は 8 月 11 日、今治市中央公民館で行われ、松前ひまわり少年少女合唱団が出演しました。今年は児童合唱組曲『空にかいた 12 の童話』より「もし、国民の休日をきめる係になれば」・「はらぺこあおむし」の 2 曲を披露。団員一同、歌うことの楽しさを胸に、心を込めて歌い、練習の成果を発揮しました。

次は 10 月に開催予定のまさき文化祭に出演予定です。ぜひお越しください。

松前ひまわり少年少女合唱団は、随時団員を募集しています。興味のある人は、社会教育課生涯学習係(☎985-4135)までご連絡ください。



未来を担う子どもの声を聞く

令和 8 年松前町子ども議会

「令和 8 年松前町子ども議会」は 8 月 7 日、役場の議場で行われ、町内の小中学生 8 人が子ども議員として町政に対する意見を述べました。

子ども議員は 7 月下旬から議会について学び、町議会議員の指導のもと一般質問を準備して本番に臨みました。当日は子ども議員一人一人の質問に対し、田中町長が丁寧(うすだまゆ)に答弁を行いました。松前中学校 1 年生の上田美結さんは「質問するときは自信を持って話すことができた。次回も参加したい」と笑顔で話していました。

